

松村介石 おつぢ 京教家。安政六年十月十六日播磨國生れ、昭和十四年十一月、千九日歿（八五九—一九元）。本名介石。↑おつぢ別名松村介石、森本介石、號空膝堂主人、看雨道人、足堂。明治二年上京、キリスト教公入信し傳道活動、教職等を経、武士道・儒教・キリスト教を合せた独自の教義を以て日本教會（のち道會と改稱）を設立、機關誌『道』を創刊した。

著書『偽渡一言』（空膝堂主人名、明治十八年十月米國聖教書類會

社）、『誠心發表 悔改結果 奇談集』（森本介石名、編、明治二十年八月小林徳

太郎刊、整醒社）、『偽渡一言・第壹編』（空膝堂主人名、第廿五版

・明治二十五年六月米國聖教書類會社）、『アップル 倫古龍傳』（二版

・明治二十八年四月、千日整醒社書店）、『美文叢下滴泉』（合著、

石橋慶太郎編、明治二十二年九月十八日大學館「名家文庫」）、『警

世時論』（明治二十二年七月十四日救済新報社）、『英雄青年時代』

（明治二十二年十一月、千五日救済新報社。附録「京教戰争論」）、

『修養談』（明治二十四年七月十九日整醒社書店「警世叢書」）、『先

覺詞藻』（合著、進藤信義編、明治二十四年十月十一日阪鐘美堂本店

・鐘美堂支店）、『萬國輿地史』（明治二十五年十月十六日整醒社書

店）、『聖人ソクテテマ』（明治二十六年二月十九日整醒社書店「人

物叢書」）、『華感小集』（明治二十六年八月、二十五日整醒社書店



『警世叢書』）、『男學生氣質』（附 錄學生消夏法）

（合著・新公論社・高島入園編、明治二十九年二

月、千九日鶴聲堂書店）、『養心録』（明治四十

二年八月十八日弘學館）、『告青年諸君』（合著、明治四十三年四月

十日大盛堂書店)、『新論語』(合著・成功雜誌社編、明治四十二年六月十日成功雜誌社)、『婦人の心得』(明治四十四年十月五日盛疊社書店)、和村相讓二英譯『十牛頌』(編、大正二年八月十日左久良書房)、『魂の改造』(大正九年五月十日三信警醒社書店)、『人格論』(齋藤剛爾編、大正九年十月十八日東亞堂)『縮刷名著叢書』、『熱海』(五十名家) (合著・齋藤和堂編著、大正九年十一月十日靜岡・富永寛明刊、精和堂發賣)、『日本改造論』(大正十二年十一月二十日道會事務所)、大倉孫兵衛著『大翁訓話』(編、大正十二年十一月二十八日道會本部)、『新宗教』(大正十四年七月二十一日道會事務所)、『高嶺の月』(大正十五年五月十八日道會本部)、『智仁勇の解釋』(大正十五年八月十九日道會事務所)、『信仰五十年』(大正十五年九月二十日道會事務所、盛醒社書店發賣)、『道會ハイブ』(選、昭和二年二月二十日道會事務所)、『道會老莊列』(選、昭和二年十一月十五日道會事務所)、『道會詩集』(昭和四年六月一日、第一集・十一年二月二十八日道會事務所)、『道會話録・第一集』(昭和六年四月十日道會事務所)、『報知講壇』(合著・報知新聞社編、昭和九年四月五日報知新聞社)、『渡邊翁追悼陽明學研究』(合著・木村秀吉編、昭和十二年七月二十日渡邊翁追悼陽明學研究行會)等。